

2026 年 10 月 15 日

横浜ゴムの「GEOLANDAR」装着車が 「XCR スプリントカップシリーズ」の全 5 クラス中 4 クラスでシリーズチャンピオンを獲得

横浜ゴム（株）の SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」装着車が「XCR スプリントカップシリーズ※¹」において全 5 クラス中 4 クラスでシリーズチャンピオンを獲得しました。当社はアグレッシブなオフロード性能とデザインを実現したオールテレーンタイヤ「GEOLANDAR X-AT（ジオランダー・エクスエーティー）」、オンロード性能とオフロード性能をさらに高次元で両立しながらオフロード感を高めた「GEOLANDAR A/T4（ジオランダー・エイティフォー）」を供給し、シーズンを通じて圧倒的な強さを発揮しました。

XC-1※²クラスでは、惣田政樹選手（コ・ドライバー：猿川仁選手）が開幕から 5 戦連続で優勝し、3 年連続のシリーズチャンピオンに輝きました。XC-2※³クラスでは「GEOLANDAR」装着車が 1～3 位を独占。番場彬選手（コ・ドライバー：藤田めぐみ選手・宮本大輝選手・竹下紀子選手）は、新型トヨタ・ハイラックスのデビュー戦を制して 5 連覇を達成し、2022 年のシリーズ創設以来、王座を守り続けています。

今季新設された SUV を対象とする 2 クラスでも、「GEOLANDAR」装着車が初代王座を獲得しました。XC-2S※⁴クラスの浅井明幸選手（コ・ドライバー：古川和樹選手・浅野雅斗選手）は、三菱 エクリプスクロス PHEV で開幕 2 連勝を挙げ、シーズン途中に投入したアウトランダーPHEV でも勝利を収めました。XC-3S※⁵クラスでは、トヨタ ライズを駆る大塚祐樹選手（コ・ドライバー：HANA 選手・坂井義浩選手）が 5 連勝を記録しました。

なお、シリーズチャンピオンを獲得できなかった XC-3※⁶クラスでは「GEOLANDAR」を装着する橘礼太選手が 2 位、奈良裕選手が 3 位に入りました。奈良選手はジムニーで、排気量が 2 倍以上のライバル車に競り勝つなど健闘し、参戦した 4 戦すべてで優勝または 2 位を獲得しました。

横浜ゴムは 2024 年度から 2026 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2026（YX2026）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニロク）のタイヤ消費財戦略において高付加価値品比率の最大化を掲げ、グローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR」、「ウィンタータイヤ」、そして 18 インチ以上のタイヤの拡販に取り組んでいます。その中で、モータースポーツ活動を「ADVAN」「GEOLANDAR」のブランド価値向上の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまでグローバルでの多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。

※1：2026 年シリーズより「XCR スプリントカップ北海道」から名称を変更。

※2：車両重量による区分を行わない XC 車両および参加を認められた SUV 車両

※3：カタログ表示の車両重量が 2,000kg を超える XC 車両

※4：排気量が 2,000cc を超える SUV 車両

※5：排気量が 2,000cc 以下の SUV 車両

※6：カタログ表示の車両重量 2,000kg 以下の XC 車両

■「GEOLANDAR」装着車シリーズチャンピオン獲得一覧

クラス	ドライバー	コ・ドライバー	車両	タイヤ
XC-1	惣田政樹	猿川仁	ジオランダーブラ V・SF デリカ D5	GEOLANDAR X-AT GEOLANDAR A/T4
XC-2	番場彬	藤田めぐみ／宮本大輝／ 竹下紀子	CUSCO YH ジョランダー HILUX	
XC-2S	浅井明幸	古川和樹 浅野雅斗	YH 三菱エクリプスクロス PHEV 三菱 YH アウトランダーPHEV	
XC-3S	大塚祐樹	HANA／坂井義浩	トゥーザコアメーブル ジョランダー ライズ	



XC-1 クラスチャンピオンの「ジオランダーブラ V・SF デリカ D5」



XC-2 クラスチャンピオンの「CUSCO YH ジョランダー HILUX」



XC-2S クラスチャンピオンの「三菱 YH アウトランダーPHEV」



XC-3S クラスチャンピオンの「トゥーザコアメーブル ジョランダー ライズ」

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
 TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552